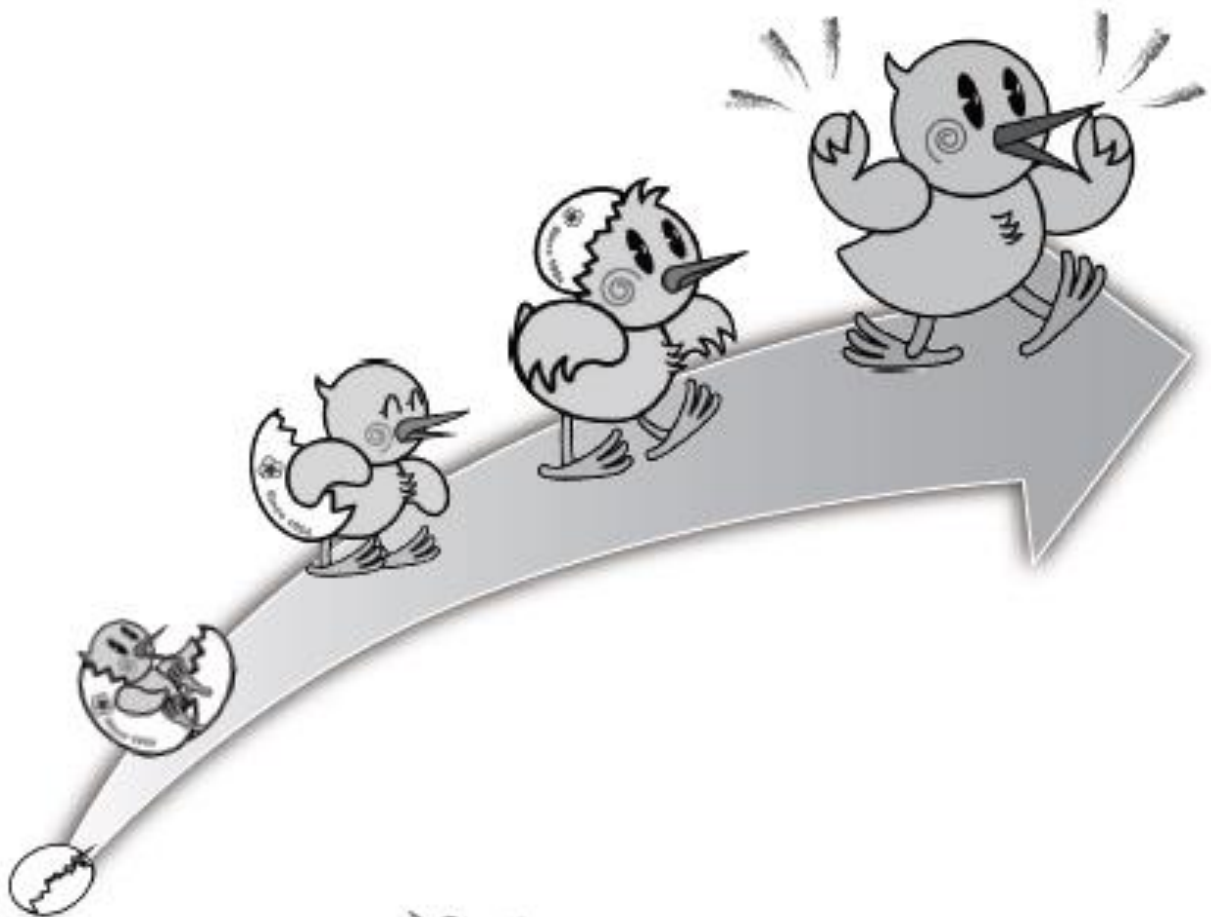


第6次鴻巣市総合振興計画〈平成29年度～令和8年度〉

令和5年度 実施計画

計画期間 〈令和5年度～令和7年度〉



— 目 次 —

第 1 章 実施計画の概要

1 計画の趣旨	1
2 計画の期間	1
3 計画の基本方針	2
4 計画の範囲	2
5 実施計画事業の選定基準	3

第 2 章 財政計画

1 計画期間内の財政見通し	3
(1) 歳入見通し	3
(2) 歳出見通し	4
2 市の財政フレーム	4

第 3 章 分野別計画

・ 令和 5 年度 実施計画対象事業一覧表	5～6
・ 実施計画書(ソフト事業)	7～17
・ 実施計画書(ハード事業)	18～23
・ 参考(国民健康保険事業特別会計、水道・下水道企業会計事業)	24～26

第1章 実施計画の概要

1 計画の趣旨

第6次鴻巣市総合振興計画の基本計画で定められた施策をどのように実施していくかを具体的に示す「実施計画」は、新年度を含めた向こう3か年の重要事業の推進の方向性を示すことを目的に、毎年度、予算が確定する3月末に策定しているものです。

この計画は、次年度以降の予算編成及び事業実施の指針となるばかりでなく、市が取り組んでいる重要事業の内容を市民の皆様にご覧いただくという役割も担っています。

このたび公表する実施計画に掲載した事業に関しては、今後、①事業担当部課による事業内容や事業費の精査、②それに基づく予算の概算要求、③市長の予算査定、④市議会における審議等、様々な過程を経てその予算化・事業化を目指していくこととなります。

なお、これらの予算化・事業化を目指す一連の作業の中で、事業費の拡大・縮小、事業の取り止め・延伸・前倒し等、変更する場合があります。

平成 29年度 (2017)	30年度 (2018)	令和 元年度 (2019)	2年度 (2020)	3年度 (2021)	4年度 (2022)	5年度 (2023)	6年度 (2024)	7年度 (2025)	8年度 (2026)
基本構想									
前期基本計画					後期基本計画				
				実施計画					
					実施計画				
						実施計画			
							実施計画		
							毎年度3か年 ローリング方式※		

※ローリング方式
総合振興計画など、長期の事業計画の実施過程で計画と実績を毎年チェックし、計画的な目標達成を図る方式。

2 計画の期間

本計画の期間は、令和5年度から令和7年度までの3か年とします。

今回の実施計画は、第6次鴻巣市総合振興計画の第7期目の実施計画となります。

3 計画の基本方針

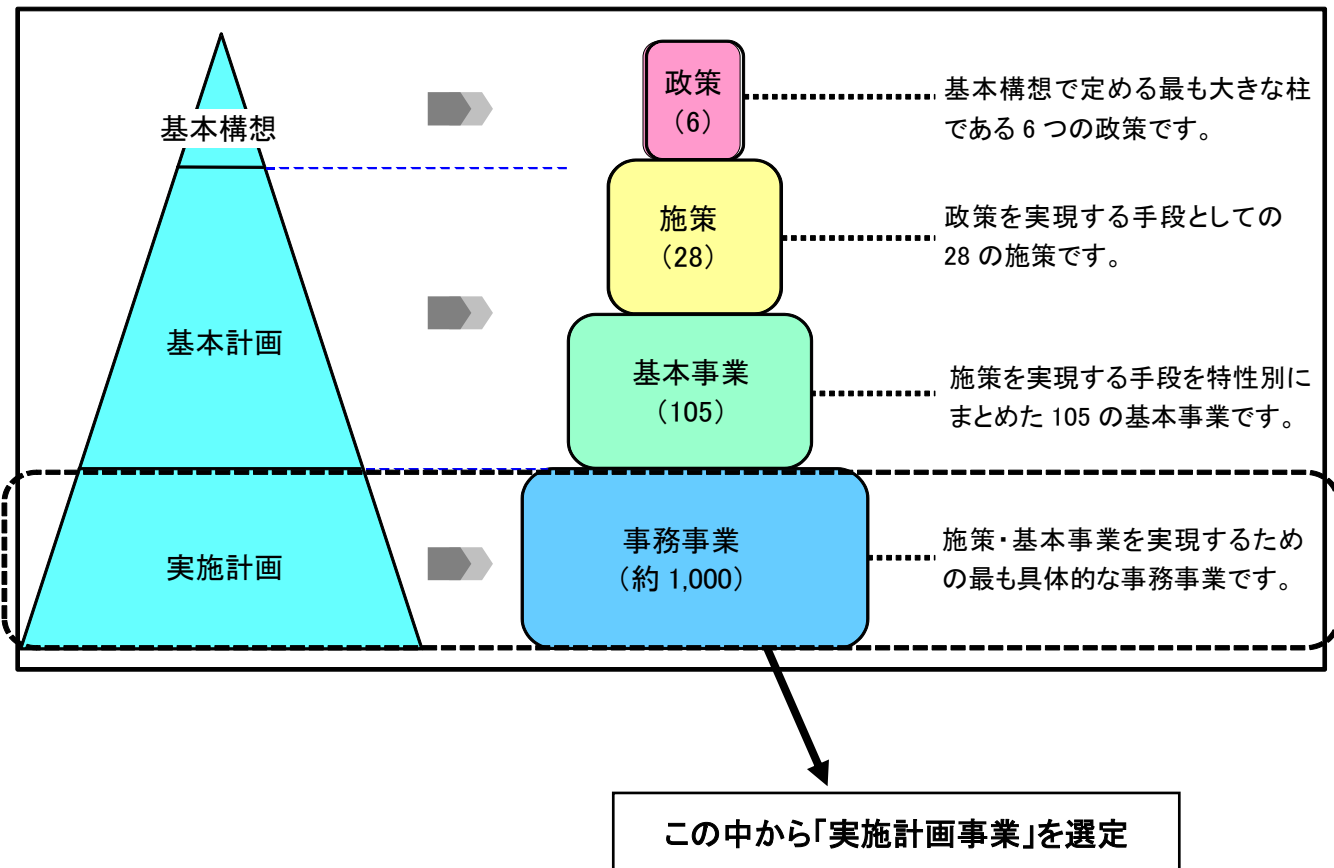
本計画に掲げられた事業を進めるにあたっては、財源の確保に最大限努めるとともに、行政評価の考え方にに基づき、効果的・効率的に事業を進めます。

また、それぞれの事業の実施にあたっては、

◆政策 1 子育て・教育・文化に関する政策 ～未来をひらく人材を育て、 確かな学びと文化が根付くまちづくり～	◆政策 4 都市基盤に関する政策 ～都市機能と豊かな自然が調和した 住みよい快適なまちづくり～
◆政策 2 保健・福祉・医療に関する政策 ～いきいきと健康で充実した生活を過ごせるまちづくり～	◆政策 5 産業に関する政策 ～にぎわいと活力と魅力を創出できるまちづくり～
◆政策 3 安全・安心に関する政策 ～安全・安心に暮らせるまちづくり～	◆政策 6 市民協働・行政運営に関する政策 ～市民協働による一人一人が主役のまちづくり～

という、基本構想に定める、「6つの政策展開の方向」のもと取り組みます。

4 計画の範囲



5 実施計画事業の選定基準

実施計画事業は、向こう3か年を計画期間として毎年ローリングします。
今年度の対象事業については、下記の基準によって選定しています
(※ 対象事業は第3章一覧表のとおり)。

- 1 施策の成果に対し、貢献度が大きい事業
- 2 まち・ひと・しごと創生総合戦略及び国土強靱化地域計画と連携する基本事業に位置付けられる事務事業のうち、特に重要性の高い事業
- 3 複数年にわたり多額の事業費を必要とし、終期設定がある事業
- 4 制度改正等により事業費が大きく変動する事業
- 5 上記以外の事業で実施計画に位置付ける必要がある事業

第2章 財政計画

1 計画期間内の財政見通し

我が国の経済情勢は、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進みつつある中、緩やかな持ち直しの動きが期待されています。

しかしながら、世界的なエネルギー・食糧価格の高騰などによる景気後退の懸念に加え、医療や介護、子育て支援などの福祉に係る給付費などの増加や、公共施設の老朽化対策や防災対策への対応など、今後も厳しい財政運営が続くものと考えられます。

本市においても、新型コロナウイルス感染症の長期化により厳しい状況にあるものの、緩やかな回復を想定しています。一方、合併特例債の発行期限が終了したことにより、普通建設事業費における一般財源負担の増加が見込まれ、国庫支出金等の積極的な活用と自主財源確保により一層努める必要があります。

また、以前からの喫緊の課題である人口減少対策に継続して取り組むほか、DXや脱炭素社会への対応、教育環境の整備、道路環境の整備、防災・減災対策などの事業に注力してまいります。

これらのことから、一般会計の予算規模は410億円程度で推移すると予想されます。

(1) 歳入見通し

ア 市税は、新型コロナウイルス感染症の影響や、物価高騰などによる厳しい状況から徐々に持ち直しが見られる状況を勘案し、推計しました。

イ 地方交付税は、社会保障関係費の増加が見込まれる中、行政サービスを安定的に提供しつつ、様々な重要課題に取り組めるよう拡充がなされた、令和5年度地方財政対策をもとに、推計しました。

ウ 国・県支出金については、医療や介護、子育て支援などに係る給付費の増加等を見込み、推計しました。

(2) 歳出見通し

- ア 人件費は、職員の新規採用と退職者数の増減や定年延長を考慮し、700人体制を見込み、推計しました。
- イ 扶助費は、高齢化の進行や子育て支援の充実、過去の決算の推移をもとに、推計しました。
- ウ 公債費は、過去に発行した地方債の元利償還金を見込み、推計しました。
- エ 繰出金は、各会計の自助努力での運営を前提とし、高齢化の進行に伴う福祉・医療関連の繰出しや、北新宿第二土地区画整理事業及び広田中央特定土地区画整理事業の計画的な進捗を図るための繰出しを見込み、推計しました。
- オ 投資的経費は、本実施計画に位置付けられた普通建設事業の取組などを見込み、推計しました。

2 市の財政フレーム

《歳入》

単位：千円

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
市 税	15,264,000	15,178,000	15,369,000
地 方 交 付 税	6,810,000	6,810,000	6,810,000
譲与税・交付金等	3,352,000	3,403,000	3,448,000
国 県 支 出 金	8,790,000	8,978,000	9,456,000
繰 入 金	1,812,000	2,689,000	2,478,000
市 債	902,000	1,300,000	1,629,000
そ の 他	2,400,000	2,602,000	2,554,000
歳 入 合 計	39,330,000	40,960,000	41,744,000

《歳出》

単位：千円

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
人 件 費	6,528,000	6,394,000	6,495,000
扶 助 費	10,199,000	10,403,000	10,611,000
公 債 費	4,426,000	4,327,000	4,244,000
補 助 費 等	4,471,000	4,431,000	4,405,000
繰 出 金	4,116,000	4,112,000	4,337,000
投 資 的 経 費	1,402,000	3,233,000	3,504,000
そ の 他	8,188,000	8,060,000	8,148,000
歳 出 合 計	39,330,000	40,960,000	41,744,000

※この表は、令和5年3月の推定値であり、今後経済状況等で、大きく変動する場合があります。

第3章 分野別計画

令和5年度 実施計画対象事業一覧表

(※令和5年度当初予算において、
予算が計上されている事業を掲載しています。)
(※事業費は百万円未満を切り上げています。)

【ソフト事業】

(単位:千円)

詳細ページ番号	総合戦略	強靱化	政策体系			事業名	令和5年度	令和6年度	令和7年度
			政策	施策	基本事業				
7	○		1	1	1	病児・病後児保育事業	28,000	28,000	28,000
7	○		1	1	1	保育人材確保事業	85,000	95,000	100,000
8	○		1	1	4	結婚支援事業	13,000	13,000	13,000
8	○		1	2	1	学力向上支援事業	26,000	26,000	26,000
9	○		1	2	5	小・中学校適正規模及び適正配置事業	20,000	301,000	201,000
9	○		1	3	2	放課後児童クラブ管理運営事業	541,000	488,000	488,000
10	○		2	1	5	予防接種事業	425,000	425,000	416,000
10			2	2	3	重層的支援体制整備事業	18,000	18,000	18,000
11		○	3	1	5	消防団運営事業	69,000	69,000	66,000
11	○		3	3	5	エコな住環境づくり事業	- (※1)	11,000	11,000
12	○		4	4	1	公共交通維持事業	170,000	143,000	143,000
12	○		4	4	1	デマンド交通運行事業	106,000	106,000	106,000
13	○		4	5	1	花いっぱいのもちづくり事業	16,000	16,000	16,000
13	○		4	5	3	コウノトリの里づくり事業	11,000	11,000	11,000
14	○		5	1	1	商店街にぎわい促進事業	12,000	12,000	9,000
14	○		5	3	1	こうのとりのパートナー事業	3,000	3,000	3,000
15	○		6	3	5	シティプロモーション推進事業	4,000	4,000	4,000
15	○	○	6	4	3	公共施設等マネジメント事業	4,000	7,000	7,000
16	○	○	6	4	3	包括施設管理業務事業	445,000	442,000	442,000
16	○		6	4	5	DX推進事業	4,000	4,000	4,000
17	○		6	4	5	マイナンバーカード交付事業	27,000	27,000	27,000
合 計							2,027,000	2,249,000	2,139,000

※1「エコな住環境づくり事業」については、令和4年度一般会計補正予算にて事業費が計上されているため、令和5年度の事業費を「-」で掲載しています。

【ハード事業】

(単位:千円)

詳細ページ番号	総合戦略	強靱化	政策体系			事業名	令和5年度	令和6年度	令和7年度
			政策	施策	基本事業				
18		○	1	2	4	小学校施設改修事業	212,000	103,000	148,000
18		○	1	2	4	中学校施設改修事業	13,000	163,000	251,000
19			3	2	1	交通安全施設整備事業	42,000	23,000	24,000
20	○	○	4	1	3	北新宿第二土地区画整理事業特別会計繰出金	348,000	233,000	284,000
20		○	4	2	2	三谷橋大間線(3期工事)整備事業	63,000	227,000	227,000
21		○	4	2	2	幹線道路等整備事業	240,000	267,000	267,000
21		○	4	2	2	上尾道路接続市道整備事業	22,000	27,000	57,000
22		○	4	2	3	道路改修事業	154,000	154,000	154,000
22	○	○	4	5	2	(仮称)北新宿近隣公園整備事業	3,000	20,000	200,000
23		○	5	2	2	鴻巣・行田地区経営体育成基盤整備事業	6,000	17,000	6,000
23	○	○	5	2	3	道の駅整備事業	164,000	1,418,000	1,491,000
合 計							1,267,000	2,652,000	3,109,000

<参考> 国民健康保険事業特別会計、水道・下水道企業会計

(単位:千円)

詳細ページ番号	総合戦略	強靱化	政策体系			事業名	令和5年度	令和6年度	令和7年度
			政策	施策	基本事業				
24			2	1	6	保健衛生普及事業	115,000	112,000	116,000
25		○	3	5	1	配水管等布設事業	1,020,000	1,020,000	1,020,000
25		○	3	5	1	浄水場施設等改良事業	84,000	84,000	84,000
26		○	3	6	1	汚水管渠整備事業	360,000	154,000	88,000
26		○	3	6	1	マンホール蓋改築事業	234,000	102,000	102,000
合 計							1,813,000	1,472,000	1,410,000

病児 病後児保育事業

1352

施策体系	01-01-01	会計区分	一般会計	計画年度	令和 年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)こども未来部 (課)保育課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
保育所、幼稚園、家庭保育室、小学校、特別支援学校に通所・通学している児童で、病気にかかっている、又は病気の回復期にある児童及び保護者	【事業概要】 保護者の就労等のため、集団での保育が困難な児童を適切な処遇のできる施設で預かる。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	【今後の方向性】 保護者等が必要な時に円滑にサービスを受けられるようにするため、市内2か所の病児保育及び送迎対応制度の周知を行うとともに、体制の整備や事業の充実によるサービス向上を図る。
保護者の子育てと就労の両立を支援するとともに、児童の健全な育成及び資質の向上を図る。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	04年度当初	05年度当初	06年度計画	07年度計画
活動	開設日数(日)	250	250	250	250
活動	利用児童数(人)	400	400	400	400
成果	申込者に対する利用割合(%)	100	100	100	100
成果					
事業費(千円)		33,525	27,696	27,696	27,696
うち一般財源(千円)		12,281	8,566	8,566	8,566
備考					

保育人材確保事業

1689

施策体系	01-01-01	会計区分	一般会計	計画年度	令和04年度～令和 年度	事業区分	新規
担当部課	(部)こども未来部 (課)保育課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
民間保育施設 就学前児童	【事業概要】 民間保育施設において、保育士が居住するための宿舍の借上げや、保育資格を持たない保育補助者を雇用するなどにより、保育士が働きやすい環境を整備する。 新卒保育士に対し、民間保育施設を通して就職準備金を給付することにより採用を促進し、保育士の確保を図る。 保育士の雇用にあたり、従来の広報誌や市ホームページに加え、新たに広告媒体を活用した募集を行い、公立保育所における保育人材を確保する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	【今後の方向性】 事業の拡大を図り、子どもを安心して育てることができる環境整備を行う。
保育受入枠の拡充を図るとともに、子どもを安心して育てることができる環境整備を行う。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	04年度当初	05年度当初	06年度計画	07年度計画
活動	環境整備にかかる事業を実施(補助を活用)した市内民間保育施設数(施設)		20	21	22
活動	新卒保育士就職準備金活用件数(件)		20	22	25
成果	定員に対する入所児童割合(4月1日時点)(%)		97.0	97.5	98.0
成果	民間施設における0～2歳児定員に対する入所児童割合(4月1日時点)(%)		95.9	97.2	98.0
事業費(千円)			84,824	94,228	99,789
うち一般財源(千円)			13,499	15,740	16,725
備考					

結婚支援事業

1560

施策体系	01-01-04	会計区分	一般会計	計画年度	令和01年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)総務部 (課)やさしさ支援課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	市民・未婚の男女	手段（事務事業の内容、やり方、手順）	<p>【事業概要】 結婚を希望する未婚の男女に対し、「SAITAMA出会いサポートセンター（恋たま）」を周知し、出張登録会等を通じて登録者数及び市民成婚者数の増加を図る。また、新婚世帯に住居費やリフォーム費用、引越費用の一部を補助することで新生活のスタートを支援する。</p> <p>【今後の方向性】 県と連携し、出張相談会を実施するなど、家族形成を展望できるようなライフデザインに関する支援や結婚へのサポートを充実させる。</p>
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	未婚の男女の結婚意識と新婚世帯の家族形成意識が高まり、婚姻数の増加と少子化対策が図られる。		

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	04年度当初	05年度当初	06年度計画	07年度計画
活動	結婚新生活支援補助金 補助交付件数 (件)	25	25	27	30
活動	SAITAMA出会いサポートセンター」における市民の登録者数 (人)	270	275	300	320
成果	結婚新生活支援補助金 助成額 (千円)	12,000	12,000	12,000	12,000
成果	SAITAMA出会いサポートセンター」市民成婚者数 (人)	4	9	10	11
事業費 (千円)		12,090	12,087	12,087	12,087
うち一般財源 (千円)		4,090	4,087	4,087	4,087
備考					

学力向上支援事業

1680

施策体系	01-02-01	会計区分	一般会計	計画年度	令和05年度～令和 年度	事業区分	新規
担当部課	(部)教育部 (課)学校支援課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	市内小学校在籍児童	手段（事務事業の内容、やり方、手順）	<p>【事業概要】 小学4～6年生については、学力調査を実施し、WEB分析システムによる児童の学力のデータ化及び成績に合わせた苦手克服カリキュラムの自動生成により、児童の状況に応じた学習を提供する。また、小学1～3年生については、学力の底上げを行うため、一人一人の認知特性と読み書きスキルに合わせた学習を提供するドリルソフトを導入する。</p> <p>【今後の方向性】 今後も高学年向けの総合学力調査と低学年向けの読み書きスキル向上のためのドリルソフトの導入により、個別最適な学びを充実させ、児童の学習意欲の喚起を図ることで、学力向上を目指していく。</p>
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	児童の学習への意欲を高め、学力の底上げを図る。		

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	04年度当初	05年度当初	06年度計画	07年度計画
活動	苦手克服カリキュラムに取り組んだ児童の割合 (%)		90	95	96
活動	ドリルソフトの起動率 (%)		60	65	70
成果	埼玉県学力学習状況調査 (国語・算数) で前年度より学力が伸びた児童の割合 (%)		75	76	77
成果	学習意欲に関するアンケート調査で「勉強が好き」「勉強が役に立つ」と回答した児童の割合 (%)		84	88	91
事業費 (千円)			25,659	25,459	25,259
うち一般財源 (千円)			25,022	24,822	24,622
備考					

小・中学校適正規模及び適正配置事業

1599

施策体系	01-02-05	会計区分	一般会計	計画年度	令和03年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)教育部 (課)教育総務課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
児童・生徒	<p>【事業概要】 児童・生徒数の推移や地域の実情に応じて、教育的な視点から少子化に対応した活力ある学校づくりのため、小・中学校の適正規模及び適正配置に取り組む。</p>
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	<p>【今後の方向性】 R5：学校新設に向けた基本構想・計画を策定。常光小学校と鴻巣中央小学校の統合に向けた統合準備委員会の運営。小谷小学校通学区域の見直しに伴う懇話会の開催。 R6：学校新設及び既存施設解体に伴う設計。 R7：新設候補地の既存施設解体工事。</p>
<p>「適正規模・適正配置に関する基本的な考え方」に沿った学校のあり方を研究し、地域や保護者の意見を踏まえた上で、教育格差が少なくなるよう、学校の適正規模化を進め、子どもたちにとってより良い教育環境を整備する。</p>	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	04年度当初	05年度当初	06年度計画	07年度計画
活動	審議会、懇話会、意見交換会等の実施回数(回)	5	10	10	10
活動					
成果	適正規模校の割合(%)	53.84	53.84	56	56
成果					
事業費(千円)		384	19,651	300,297	200,057
うち一般財源(千円)		384	19,651	300,297	10,057
備考					

放課後児童クラブ管理運営事業

1601

施策体系	01-03-02	会計区分	一般会計	計画年度	令和02年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)こども未来部 (課)こども応援課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
放課後児童クラブに入室している児童 放課後児童クラブ	<p>【事業概要】 保護者等が就労等により、昼間家庭にいないことが常態である児童の健全な育成を図る。 ・管理方法：直営、指定管理、業務委託 ・開室時間：放課後から午後7時まで（直営、指定管理） 民設については、各クラブにより異なる</p>
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	<p>【今後の方向性】 待機児童ゼロを継続するため、入室申請状況に注視し、必要な施設整備を行う。また放課後児童クラブの役割である子どもの健全な育成を図るため、研修を通じて放課後児童支援員等による支援の質の向上を目指す。</p>
<p>施設の整備を行うことにより、待機児童ゼロを継続するとともに、研修を通じた支援の質の向上により、放課後児童クラブの役割である子どもの健全な育成を図る。</p>	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	04年度当初	05年度当初	06年度計画	07年度計画
活動	定員超過等により整備が必要なクラブのうち、令和2年4月以降、整備が図られたクラブ数(クラブ)	4	5	6	
活動	放課後児童支援員等の研修会参加人数 合同会議等で研修の意義、必要性等を説明し参加を促進(人)	350	350	350	350
成果	整備が必要なクラブの解消率(%)	66.6	83.3	100	
成果	放課後児童支援員等1人当たりの研修会参加回数(回)	1.72	1.72	1.72	1.72
事業費(千円)		459,189	540,864	487,372	487,372
うち一般財源(千円)		113,453	132,307	124,458	124,458
備考	第2期鴻巣市子ども・子育て支援事業計画の計画期間が令和6年度のため、令和7年度の活動指標C・成果指標Eについては、令和6年度の計画策定に合わせて設定する。				

予防接種事業

431

施策体系	02-01-05	会計区分	一般会計	計画年度	令和 年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)健康福祉部 (課)健康づくり課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
0～16歳の市民（13～16歳は女性のみ） 65歳以上の市民	【事業概要】 鴻巣市医師会及び県医師会等と委託契約を締結し、個別接種を実施する。 定期予防接種：A類疾病（ヒブ、小児用肺炎球菌、4種混合、B型肝炎、BCG、麻しん風しん、水痘、日本脳炎、2種混合、子宮頸がん、ロタウイルス）、B類疾病（高齢者インフルエンザ、高齢者肺炎球菌） 行政措置予防接種：おたふくかぜ、不活化ポリオ、小児インフルエンザ、高齢者肺炎球菌、带状疱疹 【今後の方向性】 感染予防や疾患の重症化予防等のため、感染症対策や予防接種の必要性を周知し、接種率の向上を図っていく。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
予防接種率が向上し、感染症を予防できる。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	04年度当初	05年度当初	06年度計画	07年度計画
活動	未接種者への勧奨通知者数（人）	2,973	2,973	3,000	3,000
活動	広報掲載等による予防接種の周知啓発活動件数（回）	69	72	69	69
成果	0～16歳予防接種率（%）	98.5	98.5	98.5	98.5
成果	65歳以上インフルエンザ予防接種率（%）	53	53	53.5	54
事業費（千円）		431,327	424,969	424,969	415,547
うち一般財源（千円）		421,692	415,024	415,334	411,670
備考					

重層的支援体制整備事業

1645

施策体系	02-02-03	会計区分	一般会計	計画年度	令和04年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)健康福祉部 (課)福祉課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市民 支援関係機関	【事業概要】 令和2年6月に改正された社会福祉法に基づき、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を整備するため、対象者の属性を問わない相談支援、多様な参加支援、地域づくりに向けた支援を一体的に行う。 【今後の方向性】 ・R6年度までの移行準備期間にて包括的相談体制の稼働に向け関係機関及び事業者と連携し、支援体制を構築する。 ・「重層的支援体制整備事業実施計画」を「地域福祉計画」と一体的に策定する。 ・R5年2月に構築した地域資源情報検索サイト「Livサガねっと」の内容を充実させ、周知活動を行う。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
事業の3つの柱である「相談支援」「参加支援」「地域づくりに向けた支援」を、関係者や地域の支援者と協働で実施し、地域共生社会の実現を目指す。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	04年度当初	05年度当初	06年度計画	07年度計画
活動	新規相談受付件数（件）	100	150	200	250
活動					
成果	プラン策定件数（件）	60	70	75	80
成果					
事業費（千円）		11,213	17,467	17,467	17,467
うち一般財源（千円）		2,804	3,736	4,371	4,371
備考					

消防団運営事業

施策体系	03-01-05	会計区分	一般会計	計画年度	令和 年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)危機管理監 (課)危機管理課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
消防団 消防団員	【事業概要】 常備消防で対応できない災害及び人命の救出のための出動や火災予防の啓蒙普及活動など、消防団を円滑に運営するため、非常勤特別職員報酬や公務災害補償・退職報償金・福祉共済の負担金等を支出する。消防団については、令和2年度から3方面隊を4方面隊に移行し、分団数は令和4年度から20個分団を17個分団に再編した。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	【今後の方向性】 災害時に必要な人材の確保と組織力を維持するため、令和6年4月を目途に現在の17個分団を15個分団体制に再編及び消防団員定数を実団員数程度に是正するとともに、団員報酬の見直しなど消防団員の処遇改善を行う。
消防団に対する運営の補助をすることにより、地域防災力を維持する。 災害時に対する防御活動等により被害の軽減を図る。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	04年度当初	05年度当初	06年度計画	07年度計画
活動	災害出場回数（災害、警戒、演習訓練等）(件)	403	403	403	403
活動	災害及び訓練等延べ出場団員数（人）	9,240	9,240	9,240	9,240
成果	全建物火災に対する建物半焼以上の建物火災件数割合（%）	20	20	20	20
成果					
事業費（千円）		66,613	68,952	68,442	65,863
うち一般財源（千円）		57,625	56,464	55,954	56,875
備考					

エコな住環境づくり事業

施策体系	03-03-05	会計区分	一般会計	計画年度	令和02年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)環境経済部 (課)環境課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市民、事業者	【事業概要】 市民や事業者に対して、環境の保全及び創造に関する意識の向上を目的とした啓発を行うとともに、補助制度を活用した再生可能エネルギーの導入等、個々のライフスタイルに応じた脱炭素行動の実践について普及促進を図る。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	【事業の方向性】 2050年カーボンニュートラルの実現を目指し、エコライフや「COOL CHOICE」運動の普及啓発を行う。 また、太陽光発電設備の設置や省エネ性能の高い電気冷蔵庫の買換えなど、市民や事業者に対する補助制度を拡充し、地球温暖化対策の推進につなげる。
市民が環境問題に関心を持ち、環境負荷の少ない住環境づくりに取り組む。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	04年度当初	05年度当初	06年度計画	07年度計画
活動	啓発事業の回数（回）	9	10	10	10
活動	地球温暖化防止を目的とした補助金の交付件数（件）	282	567	282	282
成果	脱炭素社会を意識して生活している市民の平均項目実践数（項目）	4.15	4.25	4.35	4.45
成果					
事業費（千円）		10,244	30	10,244	10,244
うち一般財源（千円）		22	0	22	22
備考	令和5年度については、令和4年度一般会計補正予算(第12号)にて15,059千円を計上。				

公共交通維持事業

施策体系	04-04-01	会計区分	一般会計	計画年度	平成30年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)市民生活部 (課)自治振興課					総合戦略	

対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
市民	<p>【事業概要】 コミュニティバス「フラワー号」 8コース 運賃 一般：200円 小中高生・大学生・65歳以上・免許返納者：100円 未就学児・障がい者・80歳以上・妊娠中：無料 (免許返納者：1年間無料)</p>
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	<p>【今後の方向性】 令和5年度 コミュニティバス運行見直し コミュニティバス運行事業者選定 5年ごとに選定 EVバス1台購入(EVバス計2台運行)</p>
通勤・通学などで多くの市民が利用し、利便性が確保される。また、運転免許証返納者や移動困難者に対する移動手段を提供し、市内のアクセス性を高める。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	04年度当初	05年度当初	06年度計画	07年度計画
活動	コミュニティバスの乗車人数(人)	400,000	428,000	450,000	475,000
活動					
成果	コミュニティバス利用者1人当たりの補助金額(円)	277.3	262.6	249.7	236.6
成果					
事業費(千円)		160,165	169,805	142,749	142,749
うち一般財源(千円)		121,723	167,528	104,307	104,307
備考					

デマンド交通運行事業

施策体系	04-04-01	会計区分	一般会計	計画年度	令和04年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)市民生活部 (課)自治振興課					総合戦略	

対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
市民	<p>【事業概要】 ひなちゃんタクシー 月8回、土日祝日運休 <対象>70歳以上の高齢者、障がい者、難病患者 要介護要支援認定者、未就学児、妊婦 こうのす乗合タクシー(R5.4月から本運行開始) <対象>鴻巣市に住民登録がある方 予約、同乗可</p>
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	<p>【今後の方向性】 持続可能な運行とするため、ひなちゃんタクシーから、予約ができ低運賃で利用できる乗合タクシーへの移行を進める。</p>
市民の日常生活の移動手段が確保され、利便性の向上を図るとともに、持続可能な運行を目指していく。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	04年度当初	05年度当初	06年度計画	07年度計画
活動	ひなちゃんタクシー登録者数(累計)(人)	14,300	16,160	17,560	18,960
活動	こうのす乗合タクシー登録者数(累計)(人)	14,500	16,610	18,760	20,910
成果	ひなちゃんタクシー利用件数(件)	36,000	44,000	44,000	44,000
成果	こうのす乗合タクシー利用者数(人)	25,000	30,000	31,000	32,000
事業費(千円)		103,307	105,351	105,351	105,351
うち一般財源(千円)		102,807	104,851	104,851	104,851
備考					

花いっぱいのもちづくり事業

1626

施策体系	04-05-01	会計区分	一般会計	計画年度	令和03年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)環境経済部 (課)商工観光課					総合戦略	

対象(誰、何に対して事業を行うのか)	市民及び本市を訪れた方	手段(事務事業の内容、やり方、手順)	<p>【事業概要】 令和2年12月の「花と緑の都市宣言」を契機に街なかを花いっぱいとするまちづくりを進め、鴻巣市を訪れる方に「花のまち」として認知してもらえようPRを行う。市民や免許センター利用者に効果的にPRを行っていく。</p> <p>【今後の方向性】 令和3年度以降、鴻巣駅から免許センターまでの区間を期間限定で花で彩るフラワーロードの創出を行うとともに、その他の場所でも街なか花装飾や花壇整備等を実施していく。併せて、花のボランティア活動参加人数を増加させ、継続的に実施できる体制を構築する。</p>
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	市民や免許センター等鴻巣市を訪れる方に対し、花のまちとしての認知度向上を図る。		

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	04年度当初	05年度当初	06年度計画	07年度計画
活動	年間の植栽回数(回)	11	11	11	11
活動					
成果	花のボランティア活動参加延べ人数(人)	350	400	450	470
成果	花関係イベント来場者数(人)		225,000	225,000	225,000
事業費(千円)		18,499	15,963	15,963	15,963
うち一般財源(千円)		18,499	15,963	15,963	15,963
備考					

コウノトリの里づくり事業

1208

施策体系	04-05-03	会計区分	一般会計	計画年度	平成22年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)環境経済部 (課)環境課					総合戦略	

対象(誰、何に対して事業を行うのか)	市民	手段(事務事業の内容、やり方、手順)	<p>【事業概要】 『鴻巣市コウノトリの里づくり基本計画』に基づき、市民になじみの深いコウノトリを自然と共存する持続可能な地域づくりのシンボルとし、コウノトリとの共生による「人にも生きものにもやさしいコウノトリの里 こうのす」の実現を目指す。</p> <p>【今後の方向性】 コウノトリの飼育・放鳥へ向けた自然環境づくりを行うため、「生息域内保全計画の策定」「水辺の生物多様性の保全・再生」「生きもの等調査」を実施していく。</p>
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	たくさんの生きものが生息することができる自然環境づくりが進むことで、市民が住みよい環境を整える。		

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	04年度当初	05年度当初	06年度計画	07年度計画
活動	生きもの調査及び生きもの観察会への参加者数(人)	30	60	90	120
活動					
成果	生物多様性が保たれていると思う市民の割合(%)	79.6	80.5	81.6	82.4
成果					
事業費(千円)		10,140	10,808	10,808	10,808
うち一般財源(千円)		448	395	395	395
備考					

商店街にぎわい促進事業

施策体系	05-01-01	会計区分	一般会計	計画年度	令和 年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)環境経済部 (課)商工観光課					総合戦略	

対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
市内各商店会	<p>【事業概要】 各市内商店会等の事業活動と街路灯電気料に対し、補助金を交付する。また、大学と連携し、商店街活性化を行う。</p> <p>【今後の方向性】 令和4年度からものつくり大学との連携で始めた商店街活性化事業による「おおとり公園」内でのイベントやアンケート、ワークショップを通して商店街の活性化に向け活動を継続する。また、街路灯に関しては、LED化を進めているが、商店会員数減少により街路灯の維持が困難になってきているところもあり、市へ帰属される街路灯が増えている。そのため、そのLED化や間引き撤去工事、市への帰属を計画的に実施していく。</p>
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
商店会の活動が活発となる。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	04年度当初	05年度当初	06年度計画	07年度計画
活動	商店会活動事業費(千円)	2,921	2,000	1,900	1,900
活動					
成果	商店会会員増減数(人)	-16	-10	-5	0
成果	商店街事業活動費総額(千円)	6,105	6,000	5,900	5,900
事業費(千円)		9,918	11,131	11,117	8,643
うち一般財源(千円)		9,918	11,131	11,117	8,643
備考					

こうのとりのパートナー事業

施策体系	05-03-01	会計区分	一般会計	計画年度	令和02年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)環境経済部 (課)環境課					総合戦略	

対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
市民、事業者	<p>【事業概要】 「コウノトリをシンボルとしたまちづくり」に賛同するパートナーを獲得し、「まちづくり・仕組みづくり」を推進する。</p> <p>【今後の方向性】 地産地消の推進、こうのとりのブランドのPR、寄附金の募集等を行い、多くの関係者と一緒に事業推進を図る。令和4年度に創設したコウノトリファンクラブの入会者の増加を目指す。</p>
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
「人にも生きものにもやさしい コウノトリの里 こうのす」を実現するために、多くの人に参加していただく。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	04年度当初	05年度当初	06年度計画	07年度計画
活動	農産物使用店等奨励金の件数+商品開発補助金の件数(累計)(件)	40	80	85	90
活動					
成果	ファンクラブ会員数(人)	250	300	350	370
成果					
事業費(千円)		3,720	2,229	2,229	2,229
うち一般財源(千円)		3,720	894	894	894
備考					

シティプロモーション推進事業

1486

施策体系	06-03-05	会計区分	一般会計	計画年度	平成29年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)市長政策室 (課)総合政策課					総合戦略	

対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
市民 鴻巣市を応援したい市外在住者	【事業概要】 鴻巣市の魅力を市内外に発信し、市民の愛着醸成を図るとともに、関係人口や定住人口の獲得につなげる。 【今後の方向性】 始動期から実践期への移行を図る。 オープンミティグ「NOSU・LAB」の開催：魅力あるまちづくりのプレーヤーを掘り起こすとともに、多様な交流を通じてプレーヤー同士をつなぎ、個々の活動の発展を図る。 このす広場(リアル版)の開催：地域情報サイト「このす広場」のイベントを開催し、ヒト・モノ・コトの交流の場を創るとともに、WEBサイトへの流入を促し、地域の情報発信基盤としての拡充を図る。
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
市民の愛着を醸成するとともに、まちの魅力を効果的に発信することにより、選ばれるまちを目指す。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	04年度当初	05年度当初	06年度計画	07年度計画
活動	市民協働で取り組むシティプロモーション活動数(件)	12	10	10	10
活動					
成果	シティプロモーション活動に参加した市民及び市外在住者の延べ人数(人)	240	200	200	200
成果					
事業費(千円)		7,251	3,118	3,118	3,118
うち一般財源(千円)		6,301	3,118	3,118	3,118
備考					

公共施設等マネジメント事業

1434

施策体系	06-04-03	会計区分	一般会計	計画年度	平成26年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)財務部 (課)資産管理課					総合戦略	

対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
市民、市有公共施設(施設管理者)	【事業概要】 利用需要や社会経済情勢の変化等を見据えながら、持続可能な自治体経営を推進するために、「鴻巣市公共施設等総合管理計画」等に基づいた公共施設全体のあり方及び公共マネジメントの仕組みの検討、最適な公有財産の保有・利活用・処分といった、ファシリティマネジメントを推進する。 【今後の方向性】 [全体]計画の進行管理、施設最適化、PPP推進 不用財産の処分等の検討 [個別]エネルギー管理手法(BEMS等)の検討 随意契約保証型民間提案制度の検討 など
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
人口減少社会等に対応した公共施設等の適正な管理・整備・改修・再編が行われることにより、安全・安心・満足度の高く、持続可能な公共施設の管理運営を行う。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	04年度当初	05年度当初	06年度計画	07年度計画
活動	庁内検討委員会及び調査部会開催数(回)	8	7	10	10
活動					
成果	市民1人あたりの公共施設等維持管理費(円)	4,191	4,191	4,191	4,191
成果	公有財産売払額(千円)	10,960	13,709	13,000	13,000
事業費(千円)		7,139	3,465	6,600	6,600
うち一般財源(千円)		7,139	3,465	6,600	6,600
備考					

包括施設管理業務事業

施策体系	06-04-03	会計区分	一般会計	計画年度	令和04年度～令和08年度	事業区分	継続
担当部課	(部)財務部 (課)資産管理課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市有公共施設（施設管理者）及び利用者	<p>【事業概要】 公共施設毎・業務毎に発注していた設備点検や保守管理・簡易修繕等の業務について、高度な専門的知識と優れたノウハウを有する民間事業者と連携し、複数施設・複数の保守管理等の業務をまとめて委託することで、「業務水準の統一」「業務品質の向上」「施設の安全性向上」「事務の効率化」などを図り、今後の持続可能な公共施設の管理運営につなげる。</p> <p>令和4年度より開始し、令和5年度からはコミセン2館の追加と、第2庁舎・川里創作館を除外し、118施設で実施。</p> <p>【今後の方向性】 令和4年度～令和8年度：包括施設管理業務の実施</p>
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
状態の一元把握・優先順位化の支援・管理の質の向上・予防保全体制の確立・膨大な事務コストの低減等の効果により、安全・安心かつ持続可能な公共施設の管理運営が行われている。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	04年度当初	05年度当初	06年度計画	07年度計画
活動	包括管理施設の年間保守管理計画の執行率 (%)	100	100	100	100
活動					
成果	対象施設 設備の不具合により 施設利用を停止した件数 (件)	0	0	0	0
成果	事務コスト削減額 (千円)	62,596	62,596	62,596	65,596
事業費 (千円)		433,373	444,481	441,432	441,432
うち一般財源 (千円)		433,373	444,481	441,432	441,432
備考	成果指標「事務コスト削減額」は、本業務実施中の先行自治体における契約1本あたりの「予算要求 契約 検査 監査」等の事務コスト額を、本市に置き換え試算。				

DX推進事業

施策体系	06-04-05	会計区分	一般会計	計画年度	令和03年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)総務部 (課)ICT推進課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市民、職員	<p>【事業概要】 業務効率化及び市民の利便性向上のため、総合行政システム等の標準化やAI・RPAの活用を推進していく。また、キャッシュレス決済手段及び対象を拡大する。</p> <p>【今後の方向性】 AI-OCR・RPAを活用した業務効率化候補業務の洗い出し及び積極的に追加導入を行う。キャッシュレス決済の拡大による市民サービス向上キャッシュレス決済対象の手續等を拡大していく。 DXの推進 鴻巣市DX推進計画に基づき、全庁的にDXを推進する。</p>
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
鴻巣市デジタル・トランスフォーメーション推進計画に基づき、着実なDX推進を図る。特に、市役所業務にデジタル技術を活用し、手續の簡素化、迅速化、効率化を図り、市民サービスの向上を図る。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	04年度当初	05年度当初	06年度計画	07年度計画
活動	RPA・AI-OCR活用業務数 (件)	15	20	25	30
活動	オンライン化した手續数 (件)	67	290	330	380
成果	RPA・AI-OCR活用による平均業務時間削減率 (%)	55.0	60.0	62.5	65.0
成果	IT (情報技術) を利用した行政サービスの市民満足度 (%)	80.0	80.5	81.0	81.5
事業費 (千円)		6,741	3,525	3,525	3,525
うち一般財源 (千円)		6,741	3,525	3,525	3,525
備考					

マイナンバーカード交付事業

1692

施策体系	06-04-05	会計区分	一般会計	計画年度	令和05年度～令和 年度	事業区分	新規
担当部課	(部)市民生活部 (課)市民課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
鴻巣市民	<p>【事業概要】</p> <p>(1)マイナンバーカードの交付・電子証明書の発行・更新 (2)マイナンバーカードの利便性・セキュリティに関する周知 (3)マイナンバーカードの普及促進</p>
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	【今後の方向性】
令和6年秋までにほぼすべての市民がマイナンバーカードを取得する。	国はマイナンバーカードと健康保険証の一体化に伴い、令和6年秋に健康保険証を廃止する方針を示していることから、令和6年秋までにほぼ全ての市民がマイナンバーカードを取得できるよう広報、普及促進を行う。

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	04年度当初	05年度当初	06年度計画	07年度計画
活動	広報活動や申請サポートの実施(件)		12	12	12
活動					
成果	マイナンバーカード交付率(%)		75	90	95
成果					
事業費(千円)			26,870	26,870	26,870
うち一般財源(千円)			164	164	164
備考					

小学校施設改修事業

627

施策体系	01-02-04	会計区分	一般会計	計画年度	令和 年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)教育部 (課)教育総務課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
小学校施設、児童	<p>【事業概要】 施設の老朽度、劣化度及び築年数などから改修計画を作成し、計画的に設計及び工事を実施する。学校からの要望については緊急性及び危険性などから改修対象を決定する。</p> <p>【今後の方向性】 令和5年度：トイレ改修工事(赤見台第一小) 屋上防水等改修工事(箕田小、松原小、中央小) プール塗装等改修設計(下忍小) 令和6年度以降：屋上防水等改修工事(松原小) プール塗装等改修工事(下忍小) 個別施設計画に基づく改修設計・工事 指標は、計画に基づくトイレ及び屋上防水改修とする。</p>
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
小学校の施設や設備の不具合や危険箇所が解消され、児童が安全かつ快適に利用している。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	04年度当初	05年度当初	06年度計画	07年度計画
活動	トイレ洋式化改修個数(基)	24	18	0	18
活動	屋上防水改修棟数(棟)	0	1.5	0.5	0
成果	トイレ洋式化率(累計)(%)	64.8	67.3	67.3	69.6
成果	屋上防水改修率(累計)(%)	26.1	32.6	34.8	34.8
事業費(千円)		9,631	211,496	102,400	147,500
うち一般財源(千円)		2,031	13,796	25,600	36,900
備考					

中学校施設改修事業

635

施策体系	01-02-04	会計区分	一般会計	計画年度	令和 年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)教育部 (課)教育総務課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
中学校施設、生徒	<p>【事業概要】 施設の老朽度、劣化度及び築年数などから改修計画を作成し、計画的に設計及び工事を実施する。学校からの要望については緊急性及び危険性などから改修対象を決定する。</p> <p>【今後の方向性】 令和5年度：トイレ改修工事(鴻巣北中) 鴻巣西中施設移設等設計 令和6年度以降：鴻巣西中施設移設工事 個別施設計画に基づく改修設計・工事 指標は、計画に基づくトイレ及び屋上防水改修とする。</p>
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
中学校の施設や設備の不具合や危険箇所が解消され、生徒が安全かつ快適に利用している。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	04年度当初	05年度当初	06年度計画	07年度計画
活動	トイレ洋式化改修個数(基)	40	13	0	13
活動	屋上防水改修棟数(棟)	3	0	0	0
成果	トイレ洋式化率(累計)(%)	58.8	61.6	61.6	63.8
成果	屋上防水改修率(累計)(%)	52.9	58.8	58.8	58.8
事業費(千円)		200,563	12,060	162,300	250,500
うち一般財源(千円)		880	12,060	7,300	23,900
備考					

交通安全施設整備事業

施策体系	03-02-01	会計区分	一般会計	計画年度	令和 年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部) 都市建設部 (課) 道路課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市民	<p>【事業概要】 危険箇所の調査、交通安全施設の設置 ・市民等の要望に基づき、現地確認の上、必要箇所にカーブミラー、区画線を設置する。 ・パトロールを実施し、危険箇所を調査し、カーブミラー、区画線を設置する。</p> <p>【今後の方向性】 カーブミラーの点検結果に基づいた修繕や計画的な路面標示の更新を行っていく。</p>
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
交通安全施設が整備され、市道利用者の安全が確保される。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	04年度当初	05年度当初	06年度計画	07年度計画
活動	調査 確認回数 (回)	100	100	100	100
活動	カーブミラー 道路紙の設置数 (新規・修繕) 区画線の設置箇所 (新規・修繕) の年間箇所数 (箇所)	100	100	100	100
成果	カーブミラー設置対応率 (対応件数 / 要望件数) (%)	70	72	72	72
成果	カーブミラー修繕対応率 (対応件数 / 要望件数) (%)	100	100	100	100
事業費 (千円)		26,025	41,434	22,734	23,734
うち一般財源 (千円)		21,625	36,429	22,734	23,734
備考					

北新宿第二土地区画整理事業特別会計繰出金

588

施策体系	04-01-03	会計区分	一般会計	計画年度	平成07年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)都市建設部 (課)市街地整備課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
北新宿第二土地区画整理区域 同区域内の土地権利者	【事業概要】 市施工で実施する区画整理事業の促進と事業の安定のため、一般会計から北新宿第二土地区画整理特別会計へ繰出金として拠出を行う。 【今後の方向性】 平成30年度に仮換地指定を行った区域を含め物件移転補償及び区画道路の整備を行っていく。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
土地区画整理事業により整備改善を図り、良好な居住環境を有する宅地の基盤整備と既存宅地の整備改善がなされる。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	04年度当初	05年度当初	06年度計画	07年度計画
活動	当初予定の繰出執行率（のべ執行額/全体拠出予定額）（%）	75.9	67.49	70.81	74.85
活動					
成果	北新宿第二土地区画整理事業整備率（事業費ベース）（%）	83.8	76.2	79.1	81.5
成果	北新宿第二土地区画整理事業施行区域内人口（人）	1,979	2,039	2,100	2,163
事業費（千円）		427,900	348,000	233,000	284,000
うち一般財源（千円）		427,900	348,000	233,000	284,000
備考					

三谷橋大間線（3期工事）整備事業

1576

施策体系	04-02-02	会計区分	一般会計	計画年度	令和02年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)都市建設部 (課)道路課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
計画道路（三谷橋大間線（3期））及び利用者	【事業概要】 上尾道路から荒川左岸通線までの約429mの区間を、両側歩道付き幅員16mの道路整備を行う。 【今後の方向性】 令和5年度 物件調査・用地買収（公社から買戻し） 令和6年度～ 用地買収・物件移転補償
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
国土交通省所管の上尾道路事業化に伴い、交差点接続に合わせ、荒川左岸通線までの区間を整備することにより、上尾道路と周辺市道とのアクセスを改善し、交通の利便性を図る。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	04年度当初	05年度当初	06年度計画	07年度計画
活動	新たに取得する事業用地（㎡）	0	1,010	2,181	3,352
活動	事業費（千円）	35,177	62,941	226,780	226,780
成果	道路整備率（%）	0	0	0	0
成果					
事業費（千円）		38,000	62,941	226,780	226,780
うち一般財源（千円）		10,500	32,941	11,580	11,580
備考					

幹線道路等整備事業

1613

施策体系	04-02-02	会計区分	一般会計	計画年度	令和03年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)都市建設部 (課)道路課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
主に市民が利用する市道のうち、舗装の個別施設計画の対象となる幹線道路等及び利用者	【事業概要】 舗装の個別施設計画に基づき、対象路線のアスファルト舗装を改修する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	【今後の方向性】 市民からの振動等の苦情や改修要望箇所を考慮しながら、原則として舗装の個別施設計画に基づき、改修工事を実施していく。また、令和5年度の事業費は公共施設等適正管理推進事業債等の事業債を活用し、対応する。
多くの市民が利用する幹線道路等を適正に維持、保全し、安心して利用できる道路環境を整備し、利便性の向上を図る。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	04年度当初	05年度当初	06年度計画	07年度計画
活動	幹線道路等改修工事延長 (km)	6.6	6.6	6.6	6.6
活動					
成果	整備進捗率 (%)	53.7	65.4	78	89.8
成果					
事業費 (千円)		242,325	239,719	266,557	266,557
うち一般財源 (千円)		34,225	50,919	37,657	37,657
備考					

上尾道路接続市道整備事業

1640

施策体系	04-02-02	会計区分	一般会計	計画年度	令和04年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)都市建設部 (課)道路課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
計画道路（9路線）及び利用者	【事業概要】 上尾道路に接続する市道9路線の道路整備を行う。 【今後の方向性】 令和5年度 路線測量(B-241・B-476・A-2020・A-1038・A-2017・B-481)、予備設計(A-2045) 令和6年度 路線測量(C-307)、予備設計(B-241・B-476・A-2020・A-1038・A-2017・B-481) 用地測量・物件調査(A-2045) 令和7年度 用地測量・物件調査、(B-241・B-476・A-2020・A-1038・A-2017・B-481) 用地買収・物件補償(A-2045) B-177については、国との協議を進める。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
上尾道路整備に伴い接続する市道9路線の拡幅整備等を行うことで、道路ネットワークの強化とともに交通環境整備を図る。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	04年度当初	05年度当初	06年度計画	07年度計画
活動	新たに取得する事業用地 (㎡)	0	0	0	0
活動	事業費 (千円)	5,682	21,800	26,743	56,662
成果	道路整備率 (%)	0	0	0	0
成果					
事業費 (千円)		6,000	21,800	26,743	56,662
うち一般財源 (千円)		3,500	9,700	15,943	2,962
備考					

道路改修事業

528

施策体系	04-02-03	会計区分	一般会計	計画年度	令和 年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)都市建設部 (課)道路課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
各地区からの生活道路改修要望箇所数 市道	【事業概要】 市民からの改修要望により、現況確認後、鴻巣市道路等整備箇所評価実施要綱に基づき、鴻巣市道路等整備箇所評価検討委員会（構成員7名：道路担当課の外、都市計画担当課、総合政策担当課及び通学路担当課）を開催し、優先度に応じて、順位を決定し、道路拡幅及び道路側溝の布設等の道路改修工事を推進する。 【今後の方向性】 ・鴻巣市道路等整備箇所評価検討委員会にかからない250万円未満の案件についても、積極的に改修工事をを行い、安心・安全なまちづくりを推進する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか） ・亀裂又は凹凸が生じている舗装の打ち換えを行うことにより、市民が安心して道路を利用できる。 ・水路や側溝を修繕して水の流れを阻害している箇所を改修することにより、排水能力が保たれている。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	04年度当初	05年度当初	06年度計画	07年度計画
活動	道路改修工事件数 (件)	27	34	34	34
活動					
成果	道路維持管理上の事故件数 (件)	0	0	0	0
成果					
事業費 (千円)		119,993	153,100	153,100	153,100
うち一般財源 (千円)		119,993	153,100	153,100	153,100
備考					

(仮称)北新宿近隣公園整備事業

1672

施策体系	04-05-02	会計区分	一般会計	計画年度	令和05年度～令和 年度	事業区分	新規
担当部課	(部)都市建設部 (課)都市計画課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
市民 北新宿近隣公園	【事業概要】 北新宿土地区画整理地内において計画されている近隣公園について、地域に相応しい公園整備を進めていく。 【今後の方向性】 令和5年度 基本設計の修正 令和6年度 実施設計の作成 令和7年度 公園整備工事 令和7年度で整備完了予定
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか） 北新宿土地区画整理地内に公園の整備を行い、市民に憩いと潤いの場が与えられる。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	04年度当初	05年度当初	06年度計画	07年度計画
活動	事業費 (累計) (千円)		2,276	22,276	222,276
活動					
成果	北新宿近隣公園整備進捗率 (事業費ベース) (%)		1.0	11	100
成果					
事業費 (千円)			2,276	20,000	200,000
うち一般財源 (千円)			2,276	20,000	10,000
備考					

鴻巣 行田地区経営体育成基盤整備事業

1326

施策体系	05-02-02	会計区分	一般会計	計画年度	平成28年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)環境経済部 (課)農政課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
鴻巣市（屈巢・広田）、行田市（野・埼玉）地区のほ場整備対象農地	<p>【事業概要】 平成24年7月に設立された「鴻巣・行田地区ほ場整備推進協議会」による経営体育成基盤整備事業（大区画ほ場整備）に対し、鴻巣市と行田市が共同で事業支援を行う。 ・整備面積：鴻巣市62.3ha 行田市26.9ha 合計89.2ha ・補助率：国50% 県27.5% 市20.0% 地元2.5%</p> <p>【今後の方向性】 令和5年度 工事・確定測量・換地業務等 令和6年度 工事・確定測量・換地業務・行政界変更等 令和7年度 確定測量・行政界変更等</p>
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
かんがい用施設の整備により、生産性が向上するとともに、維持管理を軽減する。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	04年度当初	05年度当初	06年度計画	07年度計画
活動	事業費（累計）(千円)	989,447	1,212,047	1,291,238	1,332,236
活動	整備済面積（累計）(ha)	63.2	89.2	89.2	89.2
成果	事業進捗率（事業費ベース）(%)	74.7	91.5	97.0	100.0
成果	整備率（整備済面積ベース）(%)	70.9	100.0	100.0	100.0
事業費（千円）		2,656	5,714	16,395	5,735
うち一般財源（千円）		456	1,014	2,395	835
備考					

道の駅整備事業

1383

施策体系	05-02-03	会計区分	一般会計	計画年度	令和 年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)環境経済部 (課)道の駅整備プロジェクト					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
「道の駅」の整備	<p>【事業概要】 本市の地方創生の拠点となる施設として、道路利用者の休憩機能、道路情報や周辺の観光・イベント情報等の情報発信機能、農業を始めとする地域産業の活性化に寄与する地域連携機能を併せ持つ「道の駅」を整備する。</p> <p>【今後の方向性】 令和5年度 建築・外構設計、アクセス道路工事 令和6年度 建築・外構設計・工事、アクセス道路工事 令和7年度 建築・外構工事、アクセス道路工事</p>
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
「道の駅」の整備により、道路利用者の利便に供し、本市の農産物・加工品・工芸品及びその他物品の紹介、販売、地域情報の発信並びに交流の促進等により、にぎわいの創出と地域産業の振興を図る。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	04年度当初	05年度当初	06年度計画	07年度計画
活動	事業費（千円）	133,980	163,914	1,600,098	1,874,608
活動	用地取得率（%）	100.0	100.0	100.0	100.0
成果	施設数（施設）	0	0	0	1
成果					
事業費（千円）		133,980	163,914	1,417,362	1,490,269
うち一般財源（千円）		8,825	8,443	986,962	937,869
備考					

保健衛生普及事業

施策体系	02-01-06	会計区分	特別会計	計画年度	令和 年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)市民生活部 (課)国保年金課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
国民健康保険被保険者	<p>【事業概要】 疾病の早期発見や疾病の重症化予防を行うことにより、鴻巣市国民健康保険被保険者が健康な生活を送っていただくための事業を展開する。</p>
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	<p>【今後の方向性】 人間ドック、脳ドック受診料の一部費用助成、生活習慣病重症化予防事業、がん検診費用の一部負担等を引き続き実施するとともに、令和5年度中に医療費等のデータ分析結果を活用し、鴻巣市国民健康保険被保険者の健康増進及び医療費適正化を図るために「第3期データヘルス計画」を策定する。</p>
被保険者の健康の保持及び増進を図るため、脳ドック等の検査をつける被保険者が増加する。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	04年度当初	05年度当初	06年度計画	07年度計画
活動	脳ドック助成件数(件)	180	180	180	180
活動					
成果	脳ドック助成額(千円)	5,040	5,040	5,040	5,040
成果					
事業費(千円)		118,453	114,812	111,711	115,211
うち一般財源(千円)		79,253	76,214	72,211	75,711
備考					

配水管等布設事業

914

施策体系	03-05-01	会計区分	企業会計	計画年度	令和 年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)上下水道部 (課)水道課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
給水区域内水道使用者	【事業概要】 ・配水設備の拡張事業として、配水管新設にかかる設計、工事を実施。 ・配水設備の改良事業として、配水管布設替にかかる設計、工事を実施。 【今後の方向性】 管路更新計画路線、区画整理事業、道路舗装改修路線、下水道工事に伴う路線、漏水多発路線などを優先的に実施していく。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
配水設備等の拡張及び改良事業等により、水道水が安定供給されている。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	04年度当初	05年度当初	06年度計画	07年度計画
活動	管路総延長 (m)	579,000	581,500	584,000	586,500
活動	耐震管延長 (m)	53,200	54,000	54,800	55,600
成果	管路の耐震管率 (%)	9.2	9.3	9.4	9.5
成果	基幹管路の耐震適合率 (%)	83.9	83.9	83.9	83.9
事業費 (千円)		619,000	1,019,238	1,019,238	1,019,238
うち一般財源 (千円)		372,890	583,371	583,371	583,371
備考					

浄水場施設等改良事業

918

施策体系	03-05-01	会計区分	企業会計	計画年度	令和 年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)上下水道部 (課)水道課					総合戦略	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
給水区域内水道使用者	【事業概要】 鴻巣市水道施設更新及び耐震化計画（浄水場編）により改修工事等を実施。 【今後の方向性】 老朽化が進む水質監視装置の更新工事を実施するとともに、馬室浄水場No.1配水池の耐震診断の実施により耐震結果を見定め、交付金を活用した改修工事等を検討する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
浄水場施設の改良等を行うことにより、水道水が安定供給されている	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	04年度当初	05年度当初	06年度計画	07年度計画
活動	耐震化する配水池の容量 (m3)	0	0	0	0
活動					
成果	配水池耐震化率 (%)	38.3	38.3	38.3	38.3
成果					
事業費 (千円)		137,178	83,837	83,837	83,837
うち一般財源 (千円)		137,178	83,837	83,837	83,837
備考					

污水管渠整備事業

933

施策体系	03-06-01	会計区分	企業会計	計画年度	昭和48年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)上下水道部 (課)下水道課					総合戦略	

対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
公共下水道認可区域の一般家庭、事業所・工場	<p>【事業概要】 公共下水道認可区域(主に市街化区域)における一般家庭、事業所・工場等の雑排水を污水管に流し、流域下水道を経て、終末処理場できれいな水にして川に流すため、污水管の整備工事及び公共污水ますの設置工事を行う。</p> <p><計画全体概要> 事業認可面積 約1,551.2ha(令和5年3月31日予定) 供用開始面積 約1,504.1ha(令和5年3月31日予定)</p> <p>【今後の方向性】 令和5年度 北新宿地内(4.59ha)箕田地内(17.06ha) 令和6年度 北新宿地内(4.24ha) 令和7年度 北新宿地内(2.74ha)</p>
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
污水管渠(污水管、污水ます)が整備されている	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	04年度当初	05年度当初	06年度計画	07年度計画
活動	整備面積(ha)	1,503	1,526	1,530	1,533
活動					
成果	整備率(%)	98.0	98.6	98.9	99.1
成果					
事業費(千円)		600,002	360,000	153,700	87,600
うち一般財源(千円)		62,932	0	90	20
備考					

マンホール蓋改築事業

1607

施策体系	03-06-01	会計区分	企業会計	計画年度	令和03年度～令和 年度	事業区分	継続
担当部課	(部)上下水道部 (課)下水道課					総合戦略	

対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
公共下水道認可区域(汚水)	<p>【事業概要】 公共下水道認可区域(汚水)内において、機能が低下したマンホール蓋の改築工事を実施する。</p> <p>【今後の方向性】 現行のストックマネジメント計画の改築計画に基づき、令和5年度以降も改築を行っていく予定。 令和5年度 729基 令和6年度 267基 令和7年度 267基</p>
意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
機能が低下したマンホール蓋を改築することにより、蓋に起因するスリップ事故等の二次災害を未然に防止する。	

事業量・コスト・指標の推移

区分	指標名称	04年度当初	05年度当初	06年度計画	07年度計画
活動	改築基数(累計)(基)	1,400	2,122	2,389	2,656
活動					
成果	改築率(累計)(%)	52.7	79.9	89.9	100.0
成果					
事業費(千円)		266,000	234,000	101,460	101,460
うち一般財源(千円)		157,700	154,300	41,287	41,287
備考					

第6次鴻巣市総合振興計画〈平成29年度～令和8年度〉

令和5年度 実施計画

〈計画期間 令和5年度～令和7年度〉

令和5年 3月

発行／鴻巣市市長政策室総合政策課

〒365-8601 埼玉県鴻巣市中央1番1号

電話： 048-541-1321（代表）

電話： 048-541-9013（直通）

F A X： 048-543-5480

<http://www.city.kounosu.saitama.jp/>